

CCDバーコードリーダ
BC-PS700P

ユーザーズ・マニュアル
(日本語マニュアル)

株式会社ビジコム

2010.2. Ver.4.2



この度は、バーコードリーダーをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、バーコードリーダーの取り扱い方法及び各機能設定方法について説明しております。

本装置を使用する前に、必ず本書をお読みの上、内容を十分にご理解した上で正しく使用してください。

■注意事項

- 機器は絶対に分解・改造しないでください。
- 読取窓から光源を見つめたり、人の目に光源を当てたりしないでください。
- 幼児の手の届かない場所でご利用ください。
- バーコードの読取以外で使用しないでください。
- 医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。

■安全に正しくご使用いただくために

- 直射日光が長時間あたる場所、粉塵の多い場所、湿気が多い場所、油煙や湯気のあたる場所、急激な温度変化のある場所、暖房器具など発熱物の近くでは使用・保管しないでください。
- ケーブルに重いものを載せないでください。また、ケーブルを無理に引張ったりねじったり、ケーブルを持って持ち運んだりしないでください。
- 故障・破損したままで使用しないでください。
- 濡れた手で取り扱わないでください。
- 長期的な振動や、落下等の強いショックを与えないでください。
- ケーブル類は、できるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。ノイズや故障等の原因になります。
- 本機の受光部に、水・油・ほこりなどを付着させないでください。
- シンナー・ベンジンなどの溶剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

<お問合せ先>

株式会社ビジコム パソコンPOSセンター
〒112-0014
東京都文京区関口1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル1F
TEL: 03-5229-5193 FAX: 03-5229-5199
Web: <http://www.busicom.co.jp>
E-Mail: info@poscenter.jp
営業時間: 平日10:00～18:00

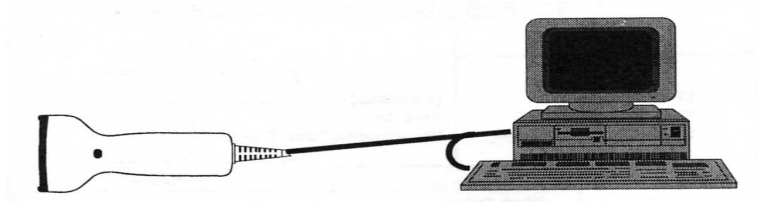
インデックス

1 接続方法	1
2 設定手順	2
3 用語の意味	3
4 出力データフォーマット	4
5 初期設定	5
6 出荷時設定	6
7 キーボードインターフェース	7
8 各種設定1	8
9 各種設定2	9
10 各種設定3	10
11 RS232Cパラメータ	11
12 プリアンブルとポストアンブルの設定の仕方	12
13 EAN-13/JAN-13	13
14 UPC-A	14
15 EAN-8/JAN-8	15
16 CODE 39	16
17 Interleaved 2 of 5	17
18 Industrial 2 of 5 / IATA	18
19 CODABAR / NW7	19
20 16進 テーブルコード表	20

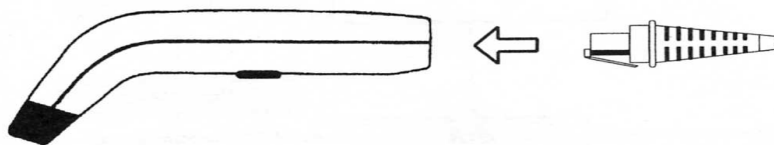
1 接続方法

例: キーボードウェッジタイプのスキャナー

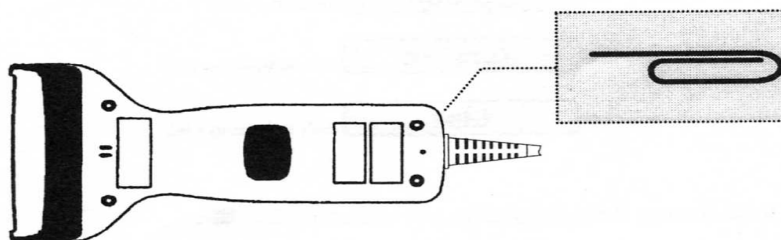
1) 端末からキーボードコネクタを外して、スキャナーのYケーブルをつなぎ、その後パソコンのキーボードポートにつないで、パソコンの電源を入れます。



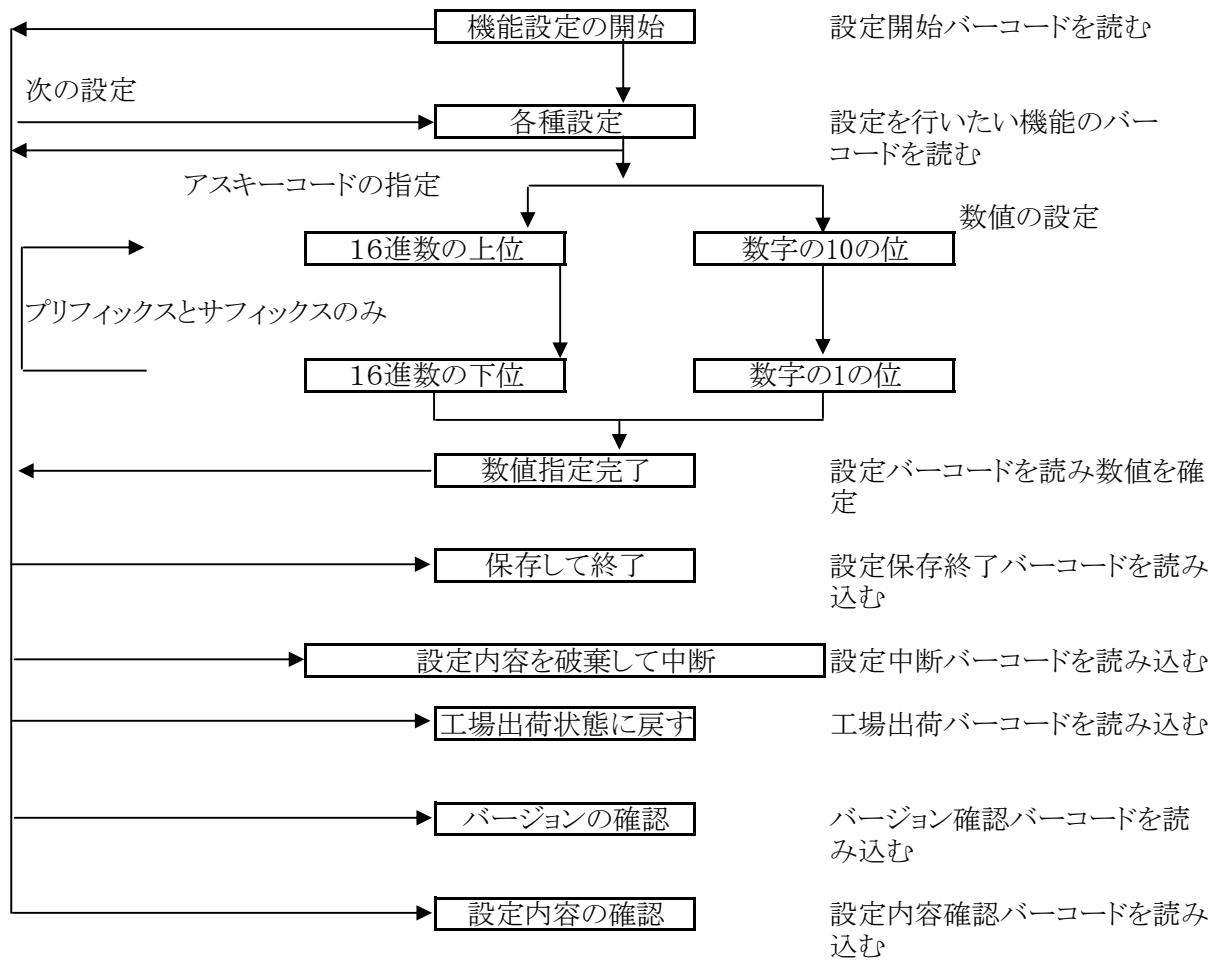
2) バーコードリーダは電話用ジャック型のコネクタによってつなげてあります。
(レーザースキャナの場合は、コネクタ部のネジを外してください)



3) 電話用ジャック型コネクタはスキャナーから簡単に取り外せます。スキャナーの後ろにある小さな穴にピンか針を差し込んでください。
(レーザースキャナの場合は、ネジ部を外すと簡単に外れます。)



2 設定手順



設定を行っている最中にわからなくなってしまった場合には、設定内容を工場出荷状態に戻して、最初から行う事をお勧めいたします。工場出荷状態は< >で示されています。

3 用語の意味

①設定項目名... 各機能の設定項目の名前

②設定開始バーコード... 設定を開始する際に1番最初に読み込むバーコード

設定機能名... 各設定の機能の名前

③機能設定バーコード... 各設定機能のためのバーコード

設定説明... 各種設定内容の説明

工場出荷値... 工場出荷状態の設定の表記は< >

設定範囲... 設定する際の決められた範囲

設定中断終了バーコード

③設定保存終了バーコード... 設定を終了する際に1番最後に読み込むバーコード

設定開始	
Interleaved 2 of 5	
読み込み	<無効> このコードは無効にて設定しております。 有効
フォーマット	<標準> 一般にInterleaved 2 of 5は、1文字のバーコードで2個の数字を表しています。文字数が奇数個の場合には、奇数コード(ODD S-code)として読み込む必要がありますので、奇数コードを設定してください。 奇数コード
チェックサム検査	<無効> チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、Interleaved 2 of 5ではモジュラス10のエイト3を利用しています。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。このコードは性質上誤読が多いので、チェックサムをつけての運用をお勧めします。 有効
チェックサム転送	<無効> チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を設定してください。 有効
予備	<無効> 有効
トランケートデジット	リーディングデジット 範囲:0010-1510 エンディングデジット パーコードの前後の指定文字数(1~15文字)を制限。設定値が0でなければ、バーコードデータキャラクタの初めか終わりの数値は切り捨てられます。トランケート数値がバーコードデータの桁かトランケートリーディングの数値より大きいのか、トランケートリーディングの数値がエンディングデジットと重複するとピー音が鳴るだけで読み取りがされません。トランケートの最
設定中断終了	設定保存終了

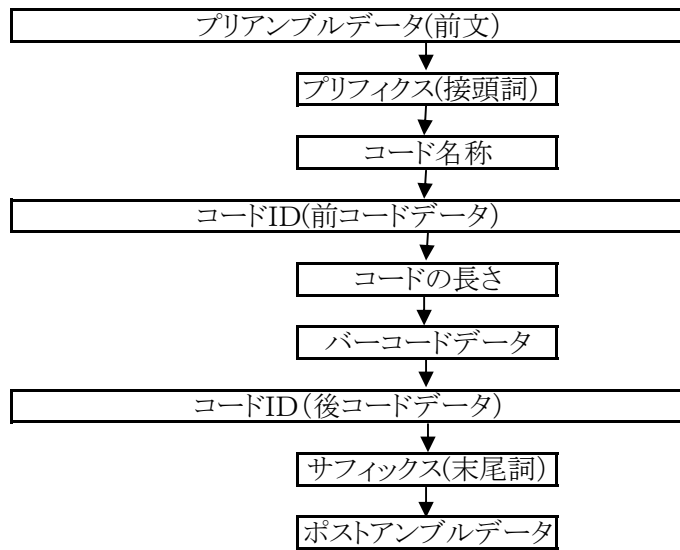
設定の仕方

スキャナーの全機能設定は本取扱説明書のバーコードを読み込むことにて行います。
以下の設定の仕方を参考にして必要なページをA4にて印字した上、読込んで設定願います。

- ①設定したい項目のページを開きます。
- ②設定開始のバーコードを読み込みます。
- ③設定したい機能の設定用バーコードを読み込みます。
- ④設定保存終了のバーコードを読み込みます。

4 出力データフォーマット

読み込んだバーコードの前後に必要なデータを付加させることができます。



5 初期設定

DEFAULTのバーコードを読み込み時の内容です。

バーコードの設定内容

コード種類	読込有効	最小限の長さ	最大限の長さ	コードID
UPC-A	○	-	-	
UPC-E	○	-	-	
EAN 13(JAN 13)	○	-	-	
EAN 8(JAN 8)	○	-	-	
Code 39	○			
Interleaved 2 of 5	○			
Industrial 2 of 5				
Martrix 2 of 5				
UCC EAN/128 *注意				
Codabar/NW7	○			
Code 128	○			
Code 93	○			
Code 11	○			
MSI/Plessey	○			
UPC-EAN Add ON 2/5				
IATA Code				
ISBN				

6 出荷時の設定

☆出荷時の設定内容

弊社のバーコードリーダは、下記の設定をして出荷しております。
出荷時の設定に戻されたい場合は、下記の手順に従って作業してください



設定開始

- A) デフォルトの設定をします。
デフォルトのバーコードを読みます。



デフォルト

- B) インタフェース設定



USB



KeyBoad



RS232C

詳細設定は、弊社までご連絡
をお願い致します。

- C) 日本語のキーボードの設定をします。
言語設定で、日本語を選択します。



日本語

設定終了バーコードを読みます。



設定終了

注意

上記の設定は出荷時の設定に戻されたいときに行ってください。
何らかの事情で調子が悪くなったとき等、上記の設定をお薦めいたします。



☆キーボードのタイプ

キーボードは、日本仕様(DOS/V)に設定してあります。しかし、お客様で特別に設定されたい場合や、初期化して再度設定したい場合に登録してください。下記以外の設定は、英語マニュアルの11Pをご参照ください



<IBM PC/AT,PS2>



MAC SE



IBM PS/2 25,30



PS-55

☆キーボード言語

バーコードリーダーは、デフォルトは英語キーボードにて設定されていますが、日本語キーボードにて設定して出荷しています。初期化した場合は、設定に注意してください



<英語>



日本語

☆キーボードスピード

キーボードのスピードは、ノーマルで設定してあります。特に遅い場合を除いて、この設定にて動作させてください。



<ノーマル>



ターボ

☆終端データ(PS2タイプ 及び USBタイプ)

バーコードデータの後ろにつく文字をどれにするかを設定します。



NONE



ESC



<CR>



CTRL-C



空白



EXEC



TAB

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆読込モード1

読み込みモードは、バーコードリーダの読込をどのような状態するかを設定します。



〈読込後 消灯〉



トリガスイッチにてON/OFF動作



LED 常時点灯



トリガスイッチにて動作



トリガ無し(常時点灯)



テストモード

☆読込モード2

光線の出力時間を設定する場合に使用します。
デフォルトは、3秒に設定してあります。
設定は、右のバーコードを読込した後、HEXラベルの
テーブルを読んで時間を設定します。



トリガ ONしてからの光線のOF
F時間

☆読込モード3

☆大文字/小文字



自動



〈小文字〉



大文字

☆10キーパッド

この設定を行うと、10キーに合わせた形式の動作ができます。

10キーパッドの設定をONにして、NUM LOCKをOFFにすると、1の場合 END 4左 6は右 2は下 8は上矢印と同じ動作をする事ができます。



ON



〈Off〉

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)





☆ブザー

ブザーの高さと長さの設定を変更することができます。
設定は、左のバーコードを読んで、HEXA DECIMALコードを読んで
設定することができます。



ブザーの高さ(0-22)



ブザーの長さ(0-127)

☆パワーアップトーン

電源入力時に、起動音を発生させるかの設定をします。



<ON>



OFF

☆LED表示

LEDの表示を設定します。
規定では、ノーマル状態で点灯し、バーコード読込でOFFします。
別の設定では、ノーマル時OFFで、バーコード読込で点灯します。



<ノーマル時 ON>



ノーマル時 OFF

☆ インターフェース

バーコードリーダのインターフェースの設定を行います。
USB及びPS2タイプは、キーボードにて設定してください



KeyBoad



RS232C

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆コードID

読込んだバーコードの種類別コードをデータの先頭に表示させます。
データは、SETテーブルによって表示させる文字が違います。



CODE ID=ON



<CODE ID=OFF>



Set1



Set2



Set3



Set4



Set5

☆Code ID Set1-Set5 テーブル表

	Set1	Set2	Set3	Set4	Set5	
Code39	A	C	Y	M	A	
Industrial 2 of 5	C	H	H	H	S	
Inteleave 2 of 5	D	I	Z	I	S	
Matrix 2 of 5	E	G	G	G	S	
Codabar	F	N	X	N	F	
Code 93	I	L	L	L	G	
Code 128	H	K	K	K	C	
EAN8	P	B	B	FF	E	
Ean13	M	A	A	FF	E	
MSI	V	V	D	P	M	
UPCA	M	A	A	A	E	

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆終端データ

データの最後にどのデータを付加するかを選択します。



NONE



ESC



<CR>



CTR-C



CR/LF



STX..EXT



LF



XON. . XOFF



SPACE



EOT



TAB

☆ボーレートの設定



300



600



1200



2400



4800



<9600>



19200



38400

☆データ長・パリティ

セットアップ データビット



7 ビット



<8ビット>

セットアップ パリティ



<NONE>



Even



Odd

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)



12 プリアンブルとポストアンブルの設定の仕方

設定開始



☆プリアンブル（例 バーコードデータの先頭に ”A”を付加したい場合）

読込データの先頭に、予め設定したデータを登録する事ができます。

設定できる文字数は最大で10文字までです。

設定の仕方

1 ページの右上の設定開始のコードを読込ます。

2 プリアンブルコードを読込ます。



プリアンブルコード

<例>

3 Hexテーブルコードから2文字単位でデータをセットします。

例 ”A”の場合の設定方法で HEX41の”4”を読込む



4

”A”の場合の設定で HEX41の”1”のコードを読込ます。



1

4 コンフォームコードを読込ます。



5 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます。

コンフォームコード

☆ポストアンブル(例 データの最後尾に”A”を付加したい場合)

読込データの最終尾に、予め設定したデータを登録する事ができます。

設定できる文字数は最大で10文字までです。

設定の仕方

1 ページの右上の設定開始のコードを読込ます。



2 ポストアンブルコードを読込ます。

ポストアンブルコード

<例>

3 Hexテーブルコードから2文字単位でデータをセットします。

例 ”A”の場合の設定方法で HEX41の”4”を読込む



4

”A”の場合の設定で HEX41の”1”のコードを読込ます。



1

4 コンフォームコードを読込ます。



5 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます。

コンフォームコード

☆プリアンブルとポストアンブルデータを消去したい場合

1 ページ右上の設定開始バーコードを読込ます。



2 クリアしたいバーコード(ポストアンブルかプリアンブル)を読込みます

プリアンブル

3 Clearバーコードを読込ます。



ポストアンブル

4 ページ右下の設定終了バーコードを読込ます



Clear

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆読取の設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆ISBN/ISSN 転換

ISBN(国際標準図書番号)とISSN(国際標準逐次刊物番号)は、2種類のバーコードブックラベルです。ISBNは978がついた10桁の数字で、ISSNはEAN-13のコード体系がついた8桁の数字です。



<ON>



OFF

☆ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。



ON



<OFF>

☆ADD/ON設定

定期刊行物(雑誌)コードを読み込む際、この設定をします。
このコードは、通常のJAN-13に5桁の数字がついています。



ON



<OFF>

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆ゼロサプレス

この機能が設定されていると、バーコードのデータキャラクタの先頭の0は切り捨てられます。



ON



<OFF>

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆EAN-8 コンバート EAN-13

EAN-8 (JAN-8) のコードの先頭に5桁の0を付加します。



ON



<OFF>

☆予備

☆予備

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆Start/End キャラクター 転送

スタート/エンドキャラクタ（*）を転送するか否かを選択します。



ON



<OFF>

☆チェックサムの設定

チェックサム(モジュラス43)のチェックを行うかを設定します。
弊社では、チェックをお勧めします。



ON



<OFF>

☆フォーマット

フルASCII CODE-39は、CODE-39の強化版で、全てのASCII
コードを表す128キャラクターのデータです。



<Srandard>



Full ASCII

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可能になっております。



<ON>



OFF

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆チェック(モジュラス10)

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。



ON



<OFF>

☆バーコード長セット

バーコードの読込巾を設定します。(デフォルトは Min:2 Max:48)

- 1 設定開始バーコードを読込みます。
- 2 右のバーコード長設定バーコードを読込みます。
- 3 16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
(最低 6桁 最大 10桁の場合「0」「6」「1」「0」の順に読取ります。)
- 4 16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります



バーコード長設定

☆



ユーザー設定

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取不可になっております。



ON



<OFF>

☆チェックデジット転送

チェックデジットを転送するかを設定します。



<ON>



OFF

☆チェック(モジュラス10)

モジュラス10のチェックを行うかの設定をする。



ON



<OFF>

☆バーコード長セット

バーコードの読込巾を設定します。(デフォルトは Min:2 Max:48)

- 1 設定開始バーコードを読込みます。
- 2 右のバーコード長設定バーコードを読込みます。
- 3 16進テーブルから4個のバーコードを読み取ります。
(最低 6桁 最大 10桁の場合「0」「6」「1」「0」の順に読取ります。)
- 4 16進テーブルのページの下にあるConfirmコードを読取ります



バーコード長設定

☆ IATA

IATAの読取の設定です。
通常は、OFFに設定されています。



ON



<OFF>

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





☆設定

初期設定では、読取可になっております。



<ON>



OFF

☆スタート・ストップコード転送

CODABAR/ NW7のスタートストップコードをパソコンに転送する場合に指定します。



ON



<OFF>

☆スタート・ストップ種類

Codabar/NW7は 6種類のスタートとストップコードが用意されていますので、ご使用されるバーコードの種類に合わせて1つ選択してください



ABCD/ABCD



ABCD/TN*E



abcd/abcd



abcd/tn*e


















ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)





 0	 8
 1	 9
 2	 A
 3	 B
 4	 C
 5	 D
 6	 E
 7	 F
	 Confirm

ABORT (設定中断終了)



END (設定保存終了)

